



吉田地区のイチオシ!

きら 夜に煌めく無数の光 ~ほたるの里 吉田~



▲案内板について説明する中尾館長。吉田地区ではどの川の周辺も同様にホタルが多く見られますが、その中でも周辺の道が広く寄りやすい場所が紹介されています。◀吉田交流センター周辺のホタルの様子（令和3年度撮影）。

5つの小川が谷の間を流れる上吉田。それらの川が合流し、中海へと流れる下吉田。吉田地区は豊かできれいな水に恵まれたホタルの名所です。水がきれいで流れが穏やか、街灯などの人工照明が届かないことなど、この地はホタルにとって住みよい場所となっています。吉田交流センターの中尾美樹夫館長は「きれいな環境が保たれており、ホタルの餌となるカワニナなどの放流といった活動はしなくても、ホタルは変わらぬ姿を見せてくれる。人の手が加わらない自然のままの状態で見守っている」と話しました。

平成8年から毎年6月初旬に「吉田ほたる祭り」を開催していましたが、コロナ禍で中止となった一昨年から、ホタルの生態や環境学習の展示を行っています。また、南小学校の4年生が環境学習の一環で水質調査に訪れるなど、吉田交流センターを中心に、地域が一体となって環境保全のPR活動を行っています。

ホタルの見ごろはその年の気候によって左右しますが、例年5月の末ごろから6月の初旬にかけて2週間ほどです。この時期になると吉田地区の夜は、周囲が写真では収めきれない淡い光で満ちます。実際に訪れ、ホタルの飛び交う様子を目に見てみませんか。

編集後記

▼初めての取材は富田のひな流しでした。スタッフの皆さんに優しく対応いただき、当日の気候のような暖かな時間を過ごしました。参加者の一人は「願うだけでなく努力して結果につなげたい」とのこと。私も取材後にひな流しに参加。願いは「取材と写真が上達しますように」。：努力も忘れずやっています(右)

▼富田城のガイドツアーに同行しました。満開の桜の中、往時に思いをはせながら山道を散策。最後の難関となる七曲りを登り、山頂部からの見晴しは最高でした。体力に自信のない人は中腹の山中御殿平付近まで車で上がることもできます。季節により表情を変える山城。ぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか(一)

安来市の人口と世帯数	R4.4.30現在
人口合計	36,782人 (男:17,692人 女:19,090人)
世帯数	14,282世帯

